

平成29年度 第1回 富津市文化財審議会会議録

1 会議の名称	平成29年度第1回富津市文化財審議会
2 開催日時	平成29年7月10日(月) 13時30分～16時00分
3 開催場所	富津市役所5階503会議室
4 審議等事項	<p>議題</p> <p>(1)平成28年度文化財審議会事業報告について</p> <p>(2)平成28年度文化財保護事業報告について</p> <p>(3)平成29年度文化財保護事業計画について</p> <p>(4)平成29年度文化財審議会事業計画(案)について</p> <p>(5)第9次富津市文化財指定について</p> <p>報告</p> <p>(1)吾妻神社馬出し祭りの千葉県無形民俗文化財指定について 及び吾妻神社オブリ神事の富津市無形民俗文化財指定の解除 について</p> <p>(2)平成29年度「日本遺産」の認定について</p>
5 出席者名	<p>審議会委員</p> <p>梶山林継 川名 興 小坂一夫 高梨 正 鈴木順一 濱名徳順 高橋 克 筑紫敏夫 笹生 衛 小澤 洋</p> <p>事務局</p> <p>岡根 茂 能城雅幸 岩名生麿 桐村修司 知念孝男</p>
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	(理由) 富津市情報公開条例第7条第2号及び 第8条第2項による
8 傍聴人数	0 人(定員5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 80-1342(2342)
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
岩名生涯学習課長	<p>はじめに資料の確認をさせていただきます。お手元に配布してあります本日の会議資料と致しまして、会議次第、資料1、資料2、資料3がございます。またそれとは別に本日は委員の方から2点ほど資料が配布されております。</p> <p>～資料の確認～</p> <p>よろしいでしょうか。  それでは会議の方を始めさせていただきます。  委員の皆様方には、公私共に何かとお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の岩名と申します。この4月の人事異動で生涯学習課長を拝命しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>会議はお手元に配布しました次第により、進めて参りますのでよろしくお願い致します。</p> <p>会議に入る前に本日の委員の出席について報告させていただきます。委員総数10名、出席委員9名であります。従いまして、富津市文化財の保護に関する条例第27条第2項の規定により、過半数を超えておりますので、本審議会は成立致します。(委員1名遅れて出席)</p> <p>それでは只今より、平成29年度第1回富津市文化財審議会を開催致します。</p> <p>それではここで、岡根教育長より皆様に挨拶申し上げます。</p>
岡根教育長	<p>改めまして皆さんこんにちは。本日は大変暑い中、ご参集頂きましてありがとうございます。</p> <p>ニュースを見ますと、世界遺産の登録等で日本中が沸き立っているような状況である一方で、福岡の方では大水が出て、沢山の被害が出ています。ふと考えますと、あの中に貴重な財産がいっぱいあるのかなあと考えると、その復旧も含めて大きな課題になってくるのだらうなと遠い千葉県の方から感じている次第でございます。</p> <p>今日の議題の中にも市の文化財の指定についての審議がございます。忌憚のないご意見とご指導頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。</p>
岩名生涯学習課長	<p>続きまして、相山会長よりご挨拶を頂戴致したいと思います。</p>
相山会長	<p>この暑い中お集まり頂きましてありがとうございます。今日は28年度の文化財の報告関係と29年度の事業計画関係、そのほか指定等の問題もありますので、盛り沢山かと思いますが、どうぞご審議頂きたいと思っております。</p>

岩名生涯学習課長	この会議は、富津市情報公開条例によりまして、会議録作成のため録音しておりますことをご了承願います。これよりは、梶山会長に会議を進めて頂きたいと思っておりますので、議長をよろしく願います。
梶山会長	<p>それでは議事に入りますが、その前に会議録署名人を、恐れ入りますが、川名委員と小澤委員にお引き受け頂きたいと思っておりますが、皆さんよろしいでしょうか。それではよろしく願います。</p> <p>それでは議題に入ります。(1)平成28年度文化財審議会事業報告について、事務局、説明をお願いします。</p>
桐村文化係長	<p>事務局より説明致します。それでは資料の1頁をご覧ください。</p> <p>～以下、資料をもとに説明～</p> <p>平成28年度の文化財審議会は2回実施しております。</p> <p>第1回審議会は平成28年5月9日(月)に、市役所5階502会議室にて開催。議題としては4件。</p> <p>(1)平成27年度文化財保護事業報告について  (2)平成27年度文化財審議会事業報告について  (3)平成28年度文化財保護事業について  (4)平成28年度文化財審議会事業計画(案)について</p> <p>さらに3件の報告をいたしました。</p> <p>(1)竹岡ヒカリモ発生地危険防止崖面工事について  (2)竹岡三柱神社の解体について  (3)寄贈裁許状について</p> <p>竹岡在住 赤松保家蔵「上総国天羽郡相川村与同国同郡売津花輪横山長崎六野五箇村山論裁許之事」</p> <p>第2回審議会は平成29年2月8日(水)に、竹岡地区及び市民会館応接室にて開催。</p> <p>現地視察 竹岡三柱神社本殿、竹岡のヒカリモ発生地  現地視察を踏まえての審議2件。</p> <p>(1)竹岡三柱神社の再建について  (2)竹岡ヒカリモ発生地工事について</p> <p>さらに3件の報告をいたしました。</p> <p>(1)西川・福恩寺の木造阿弥陀如来坐像について  (2)日本遺産の申請について</p> <p>房総が育む「海の幸」の文化 一地域に受け継がれる漁・食・祭と世界一の貝塚群</p> <p>(3)菱田家資料について</p>
梶山会長	ただいまの事務局から説明がありました議題(1)につきまして、何かご質問等ありますか。

笹生委員	三柱神社で見た絵馬については、その後どのような扱いとなっていますか。
桐村文化係長	絵馬については教育委員会の方に運び入れております。今後近隣の博物館で燻蒸の機会があれば一緒にやらせて頂きたいと考えております。
梶山会長	今ご指摘があったのは、三柱神社の解体に伴って発見された絵馬ですが、どの段階の絵馬であるのか、新しく考えても享保の絵馬と見られます。屋根の部材として使ってあったという関係で屋根裏から出てきましたが、意外と保存が良いものもあって、地域の信仰遺物というか、芸術的な遺物としても良いのではないかという話が出ましたが、それについての話です。前回ご参加された方はご覧になっていると思います。今の答えでよろしいですか。
笹生委員	結構です。
梶山会長	ほかにどうでしょうか。 私から一つお聞きしますが、(3)の裁許状は今どこにあるのですか。
桐村文化係長	教育委員会で保管しております。
笹生委員	資料の保管は、温湿度や虫害の関係があるので、きちんとしておいて頂きたいと思います。
梶山会長	新しく収蔵された資料については、便宜的な方法で、近隣の博物館などで燻蒸するような時にお願いして、一緒に燻蒸してもらうことも考えた方が良いと思います。
笹生委員	燻蒸しても、保管状況によってはまた悪くなりますから、保管する施設がないといけませんね。
梶山会長	ほかに何かありますか。 それでは、(1)平成28年度文化財審議会事業報告については、これでよろしいでしょうか。 では次に(2)平成28年度文化財保護事業報告について、事務局、お願いします。
桐村文化係長	それでは説明致します。資料の2・3頁をご覧ください。  ～以下、資料をもとに説明～  ○天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業

実施額 2,460,000 円  
(君津市・富津市の共同事業、総額 4,473,000 円)

年 2 回の被害防止管理委員会と年数回の事務局会議を開催しております。

事業概要：①被害防止…既設電気柵の維持管理  
被害多発時期の追上げの実施  
被害実態調査  
②生態調査と個体数管理  
③生息環境調査

事業委託先：天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団

この事業については、指定地南側でのサルの行動域がつかみきれていないということで、最近では南側のサルの群れに発信機を多くつけて詳細な調査を行っています。

とくに近年、指定地周辺で外来種のアカゲザルが高い頻度で確認されるようになってきました。その扱いについて、県の文化財課、自然保護課、環境省と協議して、より良い方策を今模索しているところでもあります。

○市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）

実施額 2,149,707 円

個人住宅建設及び小規模宅地造成に伴う確認調査

遺跡名 調査面積

(発掘調査) 3 遺跡

青木亀塚古墳・亀塚遺跡 116 m<sup>2</sup>/1,047.82 m<sup>2</sup>

富士見台遺跡 11 38 m<sup>2</sup>/352.18 m<sup>2</sup>、10 m<sup>2</sup> (本調査)

富士見台遺跡 12 46 m<sup>2</sup>/898.04 m<sup>2</sup>

計 3 件 200 m<sup>2</sup>/2,298.04 m<sup>2</sup>

(整理作業) 平成 26・27 年度に調査した 6 遺跡

狐塚遺跡Ⅲ・白姫塚古墳 (平成 26 年度調査)

飛附遺跡・植ノ台遺跡 8・飯野陣屋二の丸跡・神明原遺跡  
(平成 27 年度調査分)

『平成 28 年度富津市内遺跡発掘調査報告書』の刊行

○民間開発発掘調査事業（市教委直営）

実施額 3,622,008 円

医療法人社団三友会 三枝病院施設建設に伴う本調査

遺跡名 調査面積

(発掘調査)

青木亀塚古墳・亀塚遺跡 561 m<sup>2</sup>

○公共工事発掘調査事業（市教委直営）

実施額 1,448,153 円

市道山王下飯野線改良工事に伴う確認調査

遺跡名 調査面積

（発掘調査）

下谷遺跡 296 m<sup>2</sup> / 3,090 m<sup>2</sup>

○公共工事発掘調査事業（民間調査機関実施）

市道山王下飯野線改良工事に伴う民間発掘調査

\* 富津市と（有）勾玉工房Mogi との契約による

実施額 （建設経済部予算）

遺跡名 調査面積

（発掘調査）

下谷遺跡 1,018 m<sup>2</sup>

○文化財周知板設置事業

実施額 72,900 円

指定文化財説明板の設置 2ヶ所

いずれも老朽化した説明板の付け替え

1. 内藤家長の墓（花香谷・勝隆寺）

2. 浄信寺石灯籠（青木・浄信寺）

○指定文化財管理事業（報償費）

実施額 118,200 円

県指定物件 5 件、市指定物件 17 件の所有者に対する維持管理費を報償費として支出

○文化財・文化財施設環境整備事業

実施額 496,800 円

弁天山古墳墳丘草刈、上野塚古墳墳丘草刈

笹塚 1・2 号墳墳丘草刈、亀塚古墳墳丘草刈

内裏塚古墳前方部周溝草刈、千種新田収蔵庫周辺草刈

○史跡等購入事業（国・県補助事業）

実施額 24,337,265 円

内裏塚古墳後円部東側周溝内

二間塚字東内裏塚 1943 番 227 m<sup>2</sup> 宅地

土地購入費及び物件補償費

（内訳）

土地鑑定料 156,600 円

物件調査委託料 1,490,400 円

土地購入費 2,061,160 円

物件補償費 20,629,105 円

	<p>○青堀駅東口史跡情報案内所「古墳の里ふれあい館」整備活用事業 実施額 388,800 円 清掃委託料</p>
梶山会長	<p>事務局の説明が終わりましたが、平成 28 年度文化財保護事業報告について、何かご質問はありますか。</p>
笹生委員	<p>市の直営と民間委託で本調査が 2 件ありますが、これについての報告書の刊行計画と調査成果の公表の仕方について、計画がありましたら教えて下さい。</p>
桐村文化係長	<p>民間の開発に伴って調査した青木亀塚古墳・亀塚遺跡の報告書については間もなく納本される予定です。また調査成果の一般市民への公開ということですが、市役所ロビーの大会議室の壁に展示ケースを 2 つ設置して、市庁舎建設の際に出土した（打越遺跡の）遺物を展示しておりますが、今後は新しい調査成果についても公開していきたいと考えております。</p>
笹生委員	<p>モノを見せるということですが、考古学の資料をそのまま見せられても、面白くない人は全然面白くないんですね。何か茶色い焼き物があるということだけで終わってしまうんです。それをどのように見せるかということが重要です。とくに今回の山王下飯野線（下谷遺跡）は低地の砂丘上ですので、過去の災害を考える上でも、このような場所から出たということがむしろ重要で、富津市のハザードマップ的な情報も合わせて、町づくりに必要な環境データとして提示することによって、市民に還元することができるのではないのでしょうか。</p>
梶山会長	<p>ハザードマップという意見が出ましたが、今後もそのようなことを含めて活用されればと思います。ほかに何かありますか。</p>
高梨委員	<p>古墳の里ふれあい館の利用に関してですが、時々人を案内して立ち寄らせて頂いておりますが、年間を通して維持管理していく上で、何か課題があれば教えて頂きたいのですが。</p>
桐村文化係長	<p>無人の施設ですので、一日どれくらいの方が利用されているのか、データがない中で運営しております。我々もどのように管理していけばよいのか、つかみきれていないところもあります。</p>
高梨委員	<p>初めて来た方を案内する上では、非常にわかりやすく、展示の仕方も工夫されていると思います。ただ時たま、一般の特に勉強する目的でないような人も見かけるので、質問させて頂きました。</p>
梶山会長	<p>文化財とか史跡ではなく、観光で来る人もいるかと思います。</p>

桐村文化係長

ほかに何かありますか。  
ないようですので、次の（３）平成 29 年度文化財保護事業計画について、事務局の説明をお願いします。

それでは資料の 4・5 頁をご覧ください。

～以下、資料をもとに説明～

○天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業

予算額 2,460,000 円

事業内容：①被害防止事業

②生態調査と個体数管理

③環境改変と生息環境調査

事業委託先：天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団

前年度に引き続き実施いたします。

○市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）

予算額 2,154,000 円

実施内容：個人住宅建設等に伴う確認調査

150/1,500 m<sup>2</sup>

市内遺跡発掘調査報告書作成

調査主体 富津市教育委員会

例年どおり、営利を目的としない個人住宅建築等の開発に伴い実施いたします。

○民間開発発掘調査事業（事業者負担分）

予算額 3,896,000 円

事業内容：各種民間開発事業に伴う確認・本調査

250 m<sup>2</sup>/2,500 m<sup>2</sup>（確認）

1,000 m<sup>2</sup>（本調査）

調査主体：富津市教育委員会

営利を目的とする各種の民間開発に対応するためのもので、予算は全額事業者負担となります。

○文化財周知板設置事業

予算額 73,000 円

事業内容：既設の指定文化財説明板の老朽化に伴う付替え並びに新規指定物件の周知板の設置 2 か所、場所については未定。

○指定文化財管理事業報償費

予算額 119,000 円

事業内容：県指定物件 6 件、市指定物件 16 件、計 22 件に対する維持管理費の一部助成。



	<p>○文化財・文化財施設環境整備事業      予算額 499,000 円      内裏塚古墳周溝部・弁天山古墳・上野塚古墳・亀塚古墳・笹塚1・2号墳草刈、千種新田文化財収蔵庫周辺草刈</p> <p>○青堀駅東口史跡情報案内所清掃委託      予算額 400,000 円      事業内容：古墳の里ふれあい館のトイレ清掃      本年度はシルバー人材センターとの契約で、清掃作業を実施しております。      以上が平成 29 年度の文化財保護事業です。</p> <p>続きまして、平成 29 年度文化財保護関係予算でございますが、5 ページの表のとおりです。      前年度予算 41,833,000 円に対して、本年度予算は 9,980,000 円で、31,853,000 円の減となっておりますが、減の理由は、史跡用地取得と公共事業発掘調査事業（市教委直営分）が無くなったためです。それ以外のものについては、ほぼ前年度と同様になっております。      以上で説明を終わります。</p>
梶山会長	ただいま説明がありました。何か質問はございますか。
高橋委員	サルは個体数管理について、どのくらいを目安でやっているのか教えて頂けますか。
梶山会長	私の方からも一つ、アカゲザルの混ざり方というのはどのくらいの割合になっているのですか。
知念主事	私共の事業では交雑判定というところまではできておりません。ただ本事業で追跡している T-2 群（大川崎・高溝・大田和を遊動域とする 20 頭ほどの群れ）を、環境省の事業で平成 26 年度に全頭検査したところ、富津市側のサルの交雑率は 0% でした。
	ただ昨年度、高岩山自然動物園内の約 1/3 から半分程度のサルにアカゲザル交雑の疑いがあり、処分されたと伺っています。
梶山会長	最終的な年次報告はどこが出していますか。環境省の方で出しているのですか。
知念主事	富津市教育委員会と君津市教育委員会の共同事業ということで実施しており、各年度の報告書については、年 2 回関係者を集めて高岩山サルの被害防止の会議をやっているため、そこで配布するようになっております。一般に対しても行政文書として公開するようになっております。

梶山会長	それは君津市と富津市が担当者として発行しているものですか。
知念主事	そうです。内容については、委託先である高宕山サル調査団の方々がまとめたものです。先程の20頭以外にも調査しているサルはいるのですが、現状では交雑の対策というところまでは事業に入れていません。捕獲したサルの血液は採取するのですが、それを分析することまではできていないのが現状です。
梶山会長	交雑したサルやアカゲザルそのものについては保護対象にならないということなのでしょうが、その辺の条件付けというのはきちんとしてきているのでしょうか。また現状でのニホンザルの頭数は把握していなければならないことだと思います。
知念主事	平成22・23年頃の最終調査によれば、指定地域の中のサルの数は、15群400頭くらいとされています。
高橋委員	交雑がわかった段階でどんどん間引いてゆくということですが、それ以外の管理はとくにやっていないということですね。わかりました。
梶山会長	文化財史跡用地取得費の予算が計上されていないのは、今のところ予定がないからということですか。
桐村文化係長	地権者からの要望があれば、次年度予算で対応することになります。
梶山会長	ほかに何かありますか。 それでは、議題（3）平成29年度文化財保護事業計画についてはご承認頂けますか。
委員一同	（異議なしの声）
梶山会長	では次に（4）平成29年度文化財審議会事業計画（案）について事務局の説明をお願いします。
桐村文化係長	それでは資料6ページをご覧ください。 第1回については本日実施しているとおりです。 第2回については本年12月頃の実施を考えています。 内容については、一つは三柱神社再建に向けてことです。このことについては、平成30年度から年間1千万円の事業で、再建工事に着手すると再建委員会の役員から伺っています。 そのほかに指定文化財の現況調査を予定しております。三柱神社解体後の礎石等の視察についてもその候補としておきます。

梶山会長	事務局の説明が終わりましたが、何かご質問等ありますか。
筑紫委員	第2回の審議会を12月ということでしたが、年に2回ということですね。以前はもう少し回数が多かったと思うのですが、事前に2日か3日の開催日の候補を示して頂きました。今後もそのような配慮をお願いしたいと思います。
桐村文化係長	会長、教育長の都合、会議室の空き状況など色々あって調整していくと、日にちが限定されてしまうということもあります。
梶山会長	<p>皆さんお忙しいでしょうから、これは要望ということで、少なくとも一月前までには決めておいて頂きたいということで、事務局、よろしくお願いします。</p> <p>ほかに何かありますか。ないようでしたら、(4)平成29年度文化財審議会事業計画(案)については、(案)を取るということによってよろしいですか。</p>
委員一同	(異議なしの声)
梶山会長	<p>それでは、そういうことで決定させていただきます。続きまして(5)第9次富津市文化財指定について、事務局の説明をお願いします。</p> <p>以下、(5)第9次富津市文化財指定についての審議には、個人情報が含まれるため、富津市情報公開条例第7条第2号及び第8条第2項により非公開とします。</p>
梶山会長	次に会議次第5の報告に入ります。(1)吾妻神社馬だし祭りの千葉県無形民俗文化財指定について及び吾妻神社オブリ神事の富津市無形民俗文化財指定の解除について、事務局の説明をお願いします。
知念主事	<p>ではご報告致します。平成29年3月7日付けで、吾妻神社の馬だし祭り、祭りそのものが県の無形民俗文化財に新規に指定されました。同時に馬だし祭り用具の有形民俗文化財指定が解除されました。</p> <p>当初は馬だし祭りに使用する用具として昭和37年に指定されておりましたが、今回は祭礼自体の価値が見直されて高く評価されることとなり、オブリ神事も含めた祭礼全体が「吾妻神社の馬だし祭り」ということで包括的に指定されたものでございます。以下、経緯について申し上げます。</p> <p>平成25年9月17日、吾妻神社祭礼の当日に、千葉県文化財課による調査が行われました。このときはあくまで馬だし祭り用具に対する調査の依頼が来ていましたが、実態は祭礼を中心とした調査だったと聞いております。</p> <p>その2ヵ月後の11月25日に県文化財課による馬だし祭り用具の保管状況について、登録されているものと実際にあるものとどれく</p>

らい食い違いがあるのかについて調査が行われました。

その後、平成 27 年 9 月 20 日に再び県文化財課による調査が行われております。この時からすでに主な調査対象文化財は、馬だし祭り用具ではなく、吾妻神社の馬だし祭りに対する調査になっており、県文化財課担当者から、指定の対象を用具から祭礼全体に切り替える方向で検討しているという話を伺いました。従ってこの時の調査は祭礼そのものを指定文化財にするにあたっての現地調査であったと位置づけることができます。

翌年の平成 28 年 9 月 18 日、県文化財課の担当職員と文化財保護審議会とで、祭りに対して現地調査を行っております。

その後の流れと致しまして、

平成 28 年 11 月 21 日、千葉県文化財保護審議会にて諮問

平成 29 年 1 月 23 日、千葉県文化財保護審議会にて答申

平成 29 年 2 月 15 日、千葉県教育委員会会議で指定が決定し、この時点で報道も解禁となりました。

平成 29 年 3 月 7 日に「吾妻神社馬だし祭り」として千葉県指定民俗文化財となったことが千葉県報に告示されました。保持団体は吾妻神社氏子が認定され、同時に市の指定であったオブリ神事は、馬だし祭りの中にそれが含まれるので、馬だし祭りが上位指定ということで、解除になりました。また宗教法人吾妻神社が管理者であった馬だし祭り用具についても県の有形民俗文化財指定が解除されました。

平成 29 年 3 月 9 日には、県文化財課主催で、保持団体と市教育委員会職員出席のもと、参加して指定書の交付式が行われました。

以上で報告を終わります。

梶山会長

説明が終わりましたが、これについて何かご意見はありますか。

笹生委員

私も県の文化財保護審議会委員を兼ねているので、指定の経緯については聞いておりますし、その席で色々と意見も言いました。

重要なのは、富津市史に掲載された文書で、旧社家の小川家に伝わる文書に、文政年間に名主が馬だしについて取り決めをしたかなり克明な文書が残っています。200 年前の状況と現在の馬だしの状況を比較できる内容のものです。県は民俗資料として指定しているのですが、今後吾妻神社の祭礼については、文献資料として裏が取れそうであり、どこで何をやっているかということが結構わかる内容となっています。神輿のことしか書かれていないのですが、馬だしはあくまでデモンストレーションというか余興でしかなかったのです。神輿が稲子沢などを通して、途中浜に出るのですが、馬だしのことは書いていなくて、早く神社に戻って来なくてはならないのに、いつまでもぐずぐずして、上がってこないといったようなことが書いてあります。そのような文書の内容を見ると、今の馬だし神事とは少し違っています。原史料は富津市史に掲載されていますし、ただ単に今やっていることを昔のおじいさんに聞いて記録していくだけでなく、資料で裏を取っていくと、どこが変わってきたか検証

	<p>できるのがこの馬だし神事であり、富津市は地元としてそのような点からアプローチ、検証していくこともできると思います。</p>
梶山会長	<p>県の方では、無形民俗文化財として馬だし祭りが指定されたわけですが、指定が解除された用具についてはその中に含まれるのですか。</p>
笹生委員	<p>用具は使うたびに、減ったり無くなったりするので、有形で何が何点というカウントをしていくと齟齬が出てくるので、指定が難しいということだと思います。</p>
高梨委員	<p>名称のことですが、吾妻神社関係で言えば、馬だし祭り用具が県の有形民俗文化財、オブリ神事が市の無形民俗文化財となっていたということでしたが、馬だし祭りとしてはこれまで市の指定はされていなかったということですね。</p>
笹生委員	<p>市の指定はオブリ神事だけです。</p>
高梨委員	<p>民俗関係で無形と言いますと、鶴岡の羯鼓舞の場合は、「羯鼓舞及び用具」という名称で市指定の無形民俗文化財になっているわけですが、この名称も改めて考え直した方がよいのでしょうか。</p>
梶山会長	<p>県の指定の際に用具は無形の中に入ってくる筈です。ただ毎年新しくしていくものもあるので、その辺の問題がどう絡むかということです。市の方とすれば、吾妻神社の祭礼、馬だし祭りそのものを指定文化財とする県の立場を受け継ぐ形でいいかなと思います。</p> <p>ただし神輿も祭礼道具の一部に入っているかどうかという問題もあるかとは思いますが。</p>
高橋委員	<p>馬だしというと馬だしだけになってしまいましたが、実際には全てが一連のものなので、タイトルには「馬だし祭り」と付けたとしても、中身には本当は神輿も入れた方が望ましいと思います。</p>
笹生委員	<p>本来の祭りは神輿が中心の筈なのですが。</p>
高橋委員	<p>神輿が夜遅く松明を掲げてお山に帰ってくるという古い習俗も残っているわけですから。</p>
笹生委員	<p>江戸時代には午の刻に、下に降りてきてから浜の広いところで見世物として馬だしをやっています。</p>
高橋委員	<p>田んぼの中の畦でやっていたという話もあります。</p>
笹生委員	<p>取り決めしているのは神輿の扱いですから、一番大事なものは神輿です。</p>

梶山会長	<p>県が祭り全体を把握してくれているかというところです。</p>
笹生委員	<p>報告の中では、神輿のこともオブリのことも全て記録を取って、資料を出した上で指定していると思われます。</p>
梶山会長	<p>ただ笹生委員の言うように文書からの裏付けがあまりしっかりしていないかもしれませんね。</p>
笹生委員	<p>あくまで民俗を中心にやっているようです。</p>
高橋委員	<p>もともと、「用具だけ」という最初の指定がおかしかったのだと思います。</p>
梶山会長	<p>まあ全体としては良い方向に向いていると思いますので、一部解除の問題もありますが、解除とはいつでも全体を把握していくことになると思いますので、如何でしょうか。</p>
高橋委員	<p>市の方として「オブリ神事」を外して良いかという問題はあります。もともとオブリは神輿の神事で、馬だしの神事ではありません。その辺の認識が、書いてあるからいいか、ということになるのか。</p>
笹生委員	<p>今回は馬だしということで、柳田國男の『日本のまつり』の中の馬の上に御幣が載っているという話の典型例ということで、指定になっています。</p>
桐村文化係長	<p>県の文化財課の中でも、指定名称についてはかなりもめたようです。「馬だし祭り」ではなく、「吾妻神社祭礼」とした方が良いという話もあったのですが、「祭礼」という言葉で宗教色を出したくないということから「馬だし祭り」ということで全体を包括する形になっていると思います。</p>
梶山会長	<p>千葉県は市町村から上げていったものを県指定にするという立場を取っていますので、そのような（県指定に伴って市の指定が自動的に解除される）形になりますが、例えば東京都の場合には、区で指定したものを都が指定した場合には、区の指定を解除する手続きが必要になります。</p> <p>地元としては、笹生委員から指摘があったような文献からの裏付けということについて、委員が報告書を出すということもおおしくないと考えます。県指定になると同時に、地元としてはそれなりにカバーすることも考えたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>それでは次の報告（2）平成29年度「日本遺産の認定について」事務局の説明をお願いします。</p>

桐村文化係長	<p>それでは資料 9 ページと併せて資料 3 をご覧下さい。昨年度の第 2 回文化財審議会でも報告させて頂きましたが、「日本遺産」とは国が 2020 年の東京オリンピックまでに 100 件の認定を目指して、観光に結び付けていきたいと考えて動き出したプロジェクトです。</p> <p>千葉県としては「房総の海の幸の文化」について申請したいという打診が富津市にもありました。富津市では吾妻神社の祭礼や漁撈文化として潮干狩り、海苔養殖、簀立て、食文化としてはかりめ料理などを構成文化財に組み入れたストーリー仕立てにはしては如何でしょうかという話でした。</p> <p>平成 29 年 1 月 31 日付で県教育委員会が文化庁に申請したわけですが、全国からこの時点で 79 件の申請がありました。このことについては平成 29 年 2 月 8 日開催の平成 28 年度第 2 回文化財審議会でも報告したところです。その後、平成 29 年 4 月 5 日開催の「日本遺産審査委員会」で、資料 3 の表に示されているような 17 件が認定されましたが、残念ながら千葉県で申請した「房総の海の幸の文化」については外れていました。そして平成 29 年 4 月 20 日付けで、県文化財課から認定されなかった旨の正式な連絡がありました。</p> <p>以上、ご報告でございます。</p>
梶山会長	<p>まあ残念でしたということなのですからけれども、もし認定されれば国からの予算が付くのですか。</p>
桐村文化係長	<p>資料とか、観光客相手のパンフレットを作る予算は付きます。</p>
梶山会長	<p>国立公園や国定公園はどれだけ動いているのかわからないし、世界遺産が有名になったから今度は日本遺産ということですか。</p> <p>これはそういう報告ですので、よろしいですか。</p>
桐村文化係長	<p>県の担当者によれば、結果的には対象を広げすぎて焦点がぼやけてしまったのではないかということでした。</p>
鈴木委員	<p>これは平成 29 年度ということですが、30 年度というのはあるのですか。</p>
桐村文化係長	<p>2020 年の東京オリンピック開催までの期間に全国で 100 件を目指しているということです。</p>
鈴木委員	<p>今回は 17 件ですね。今後また継続した取り組みとして、県でもう一度再考して、精選した形で申請することはできますね。そうなってくると、何をということを吟味する必要があるのではないですか。</p>
岡根教育長	<p>前の年には銚子市の屏風ヶ浦などが認定されていますよね。そういったものも入れて全部で 100 件ということですね。</p>

川名委員	<p>県に対する要望を言っているのですか。</p> <p>本来は世界一の貝塚群がメインだったものに、房総の漁・食・祭をくっ付けてきたということで、ぼやけてきたのではないですか。だから私は、貝塚だけで推せば良かったと思います。もっと理屈を付ければ、房総の漁・食・祭、「海の幸」ということを主力に置くとすれば、貝塚の人たちには悪いけれども、古い時代からの食文化がずっと続いていることに理屈を付ければ良かったのではないかなと私は思います。それでその食文化は、私の持論からすれば、万葉時代からずっと続いています。そういう歌があるわけで、私が「日本貝類方言集」を作ったときに、それを感じていたわけです。そのように縦系列でやればいいのに、横に広げたから、もっとテーマを検討して良い題にすれば通ったのではないですか。これでは私でも通さないと私は思います。視点がはっきりしていないので。</p>
梶山会長	<p>わかりました。ほかの委員の方、何かありますか。</p> <p>これは県からの通知だけで来ている訳ですが、事務局で、市の文化財審議会での意見を県に報告しておいて頂ければと思います。</p> <p>次に、その他ですが、何かありますか。</p>
小坂委員	<p>大乘寺の住職から、織本花婿の説明板がだいぶ傷んできたから直して欲しいという要望が出されていますが、対応して頂けましたか。</p>
桐村文化係長	<p>現地は確認しました。年間少ない予算の中でどこを優先するかということもありますので、検討していきたいと思います。</p>
小坂委員	<p>それと、5月に地盤工学会というのがあって、この学会が第一海堡の上陸を要望して財務省に申請したところ、許可が下りて、実際に上陸して調査したらしいのですが、そのことについて教育委員会に伺いはなかったですか。</p>
桐村文化係長	<p>全くありません。</p>
小坂委員	<p>この学会で調査結果を発表したらしいのですが、地元でもやりたいという声があったそうで、もしそうなった場合には、協力して頂きたいと思います。</p> <p>なお、本日配布した資料（第一海堡の経年変化の写真）についてですが、6枚の写真のうち最新の写真は今年の3月に撮影したものです。この二十数年にわたる護岸の崩壊状況がわかると思います。</p> <p>また、海堡ファンクラブの総会で横須賀市教育委員会の野内さんが、海堡の建設過程と築造技術の変化について発表した資料をお配りしましたので、参考にさせていただければと思います。</p> <p>もう一つ、富津埋立記念館について、パンフレットには、館がいつできたかについての記載がありませんが、開館の時期を教えてくださいたいと思います。</p>



小澤委員	平成5年です。
小坂委員	はい、わかりました。
梶山会長	<p>その他で、ほかに何かありますか。 では私からひとつ。 内裏塚古墳では国からの補助金をもらって土地の買い上げが進んでいますが、そうなるとそろそろ整備計画を立てなければならないと思います。市で草刈などはやっていると思いますが、経費をかけて買った土地をどのように活用しているかということが問われるのではないですか。</p>
笹生委員	保存管理計画というのはできているのですか。
桐村文化係長	まだできておりません。
梶山会長	<p>経費がかかることですので、すぐにはなかなかできないかもしれませんが、いずれ公園化した時には、観光客のためのトイレなどを整備する必要もありますし、青堀駅前の古墳の里ふれあい館も一つの施設として位置づけられるかと思えます。</p> <p>なお、会議の開催が年2回になりましたので、それに合わせて指定の問題などを審議するようになりました。富津市の場合には、基本的には委員からの提案がないと審議対象になっていないと思います。自治体によっては地域からの申請があることが条件になっているところもあるようです。それらも含めて、ここでは委員の方々や事務局が目配りして、指定や解除を審議しています。少ない会議ですけれども、是非色々ご意見を頂いて進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>それでは議事の方を閉じさせて頂いて、事務局にお返ししたいと思います。</p>
岩名生涯学習課長	<p>長時間にわたりまして慎重なご審議ありがとうございました。 以上をもちまして、平成29年度第1回富津市文化財審議会を終了させて頂きます。ありがとうございました。</p> <p>閉 会</p>

